

都乃 松の 果解 國貞画

笑亭屋持

~ 13
3730
28



其 由 録

仁果作

十四編上

外題曲多二国

~ 13
3730
267





其
由
録

仁
果
作

十四編上

并題曲多二國

~ 13
3730
267



門へ13
3730
巻 36

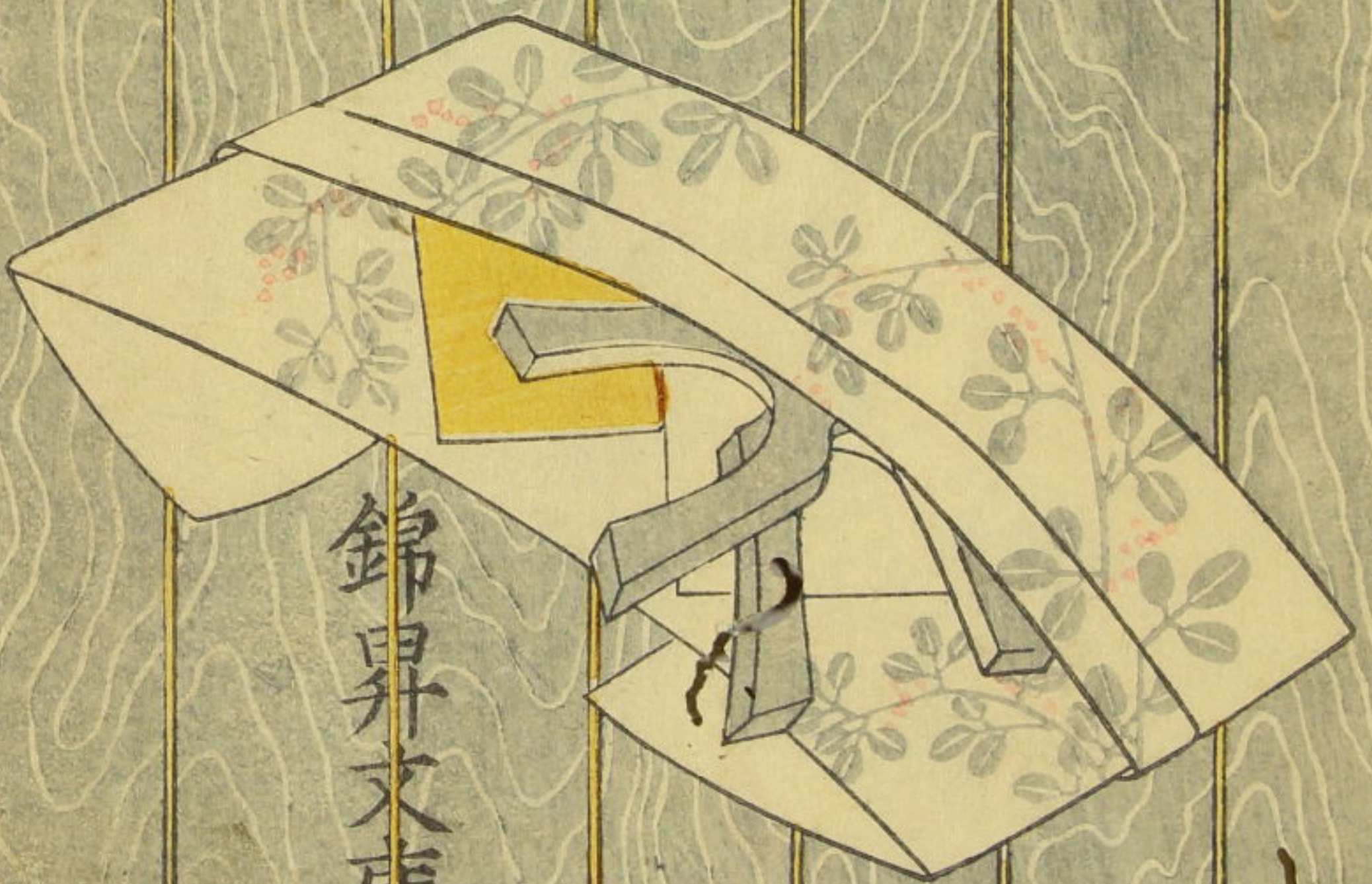
其由緑部傍

第十四編

上冊

仙果作

國貞画



錦昇文庫

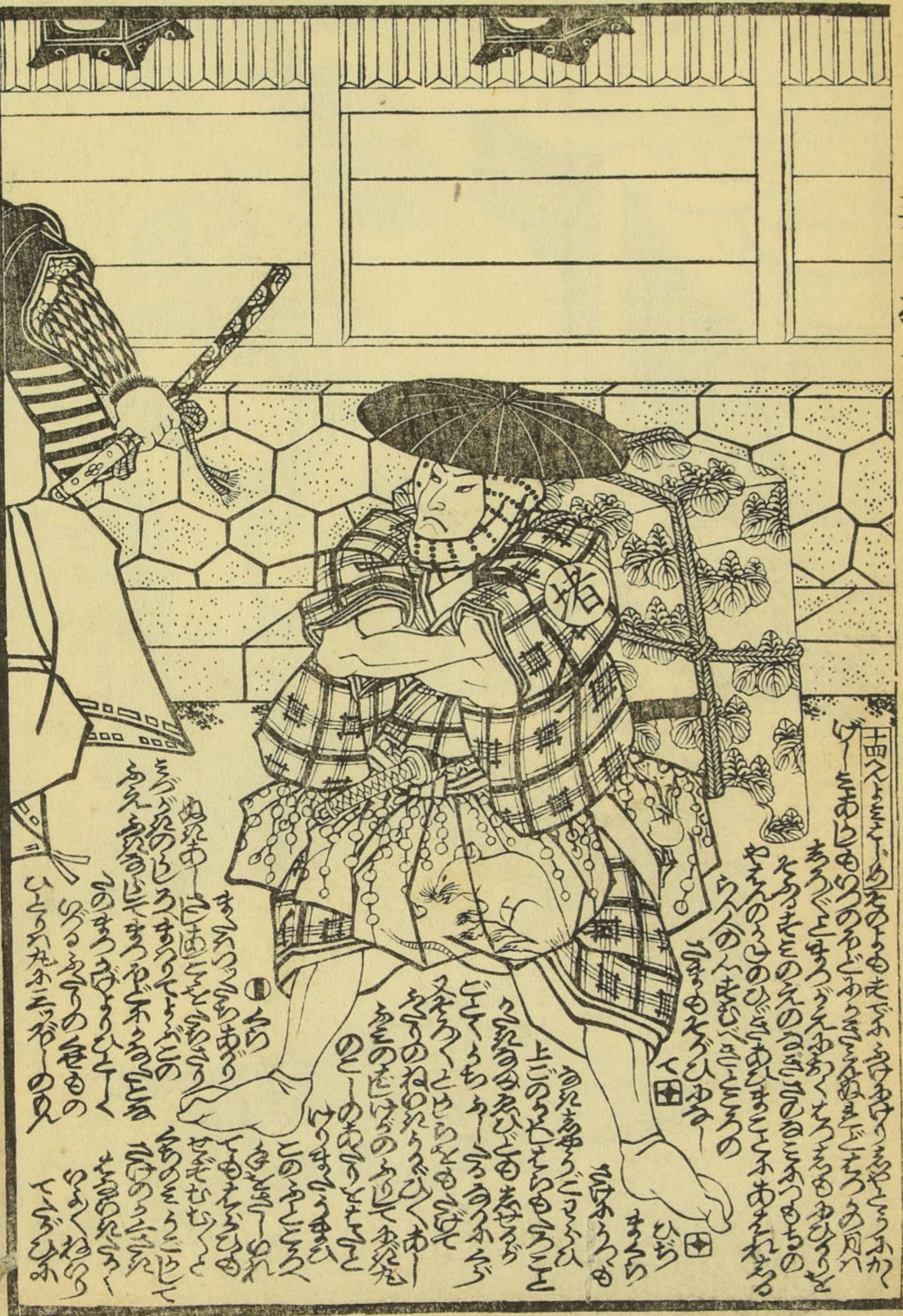
三 一

三津世の前
本編珠文の次第を
もて推則の住吉
御方
の女樂
試さるゝ
事紫の上
あまの菰の三奈院の杉を玉ひ彼町人寡小乗
柏木の督の君女二宮のゆり其傍と鄙言の歌
き定ると先文樂は足利絹の室町時代の今當代も
ひ宛ぬ承知と琴和琴竹琵琶の合せりのさもあるぐ
胡麻のさばり扱此度の争小三味線胡弓の三曲との場
あれとつあともあるさか三弦胡弓のこれを琴責の御狂
言とつあとも後幕の賀賀ふさ合よの有又三宮軒通の公



此の書は
教の言も
われが
共ふ南無
三宮の
物あり
略す
代り
外に
有
業
この
人形
の
次
を編
せ
ま

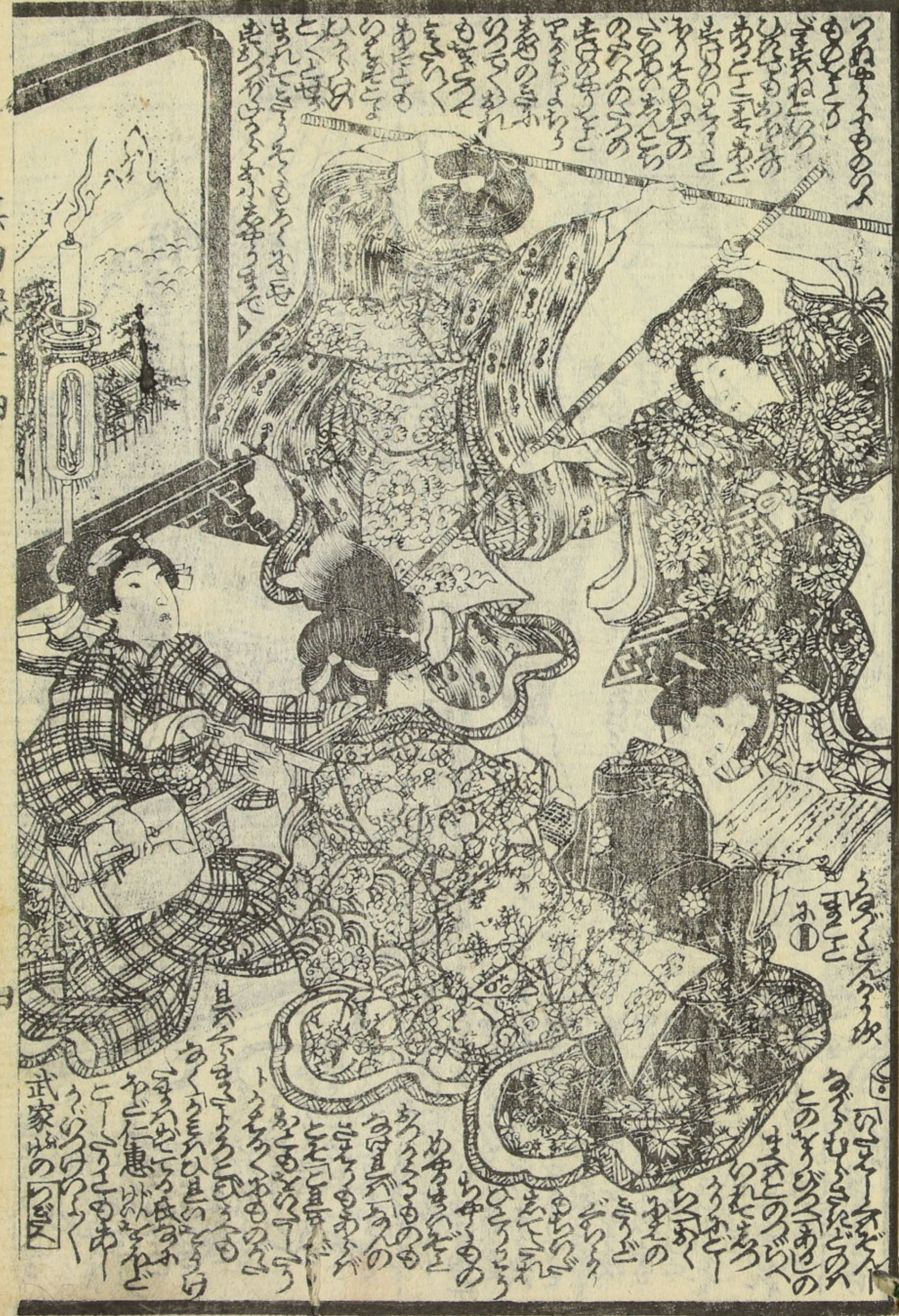
其由録十四



Handwritten Japanese text in kuzushiji style, arranged in vertical columns. It appears to be a commentary or a list of items related to the illustration.



Handwritten Japanese text in kuzushiji style, arranged in vertical columns. It appears to be a commentary or a list of items related to the illustration.



武家
の
事
は
...

武家
の
事
は
...



武家
の
事
は
...

武家
の
事
は
...

ひまわり
京小天
子さき
あつて
うきまふ
のこふ
かたふ
さきふ
まふ



ひまわり
京小天
子さき
あつて
うきまふ
のこふ
かたふ
さきふ
まふ

南朝

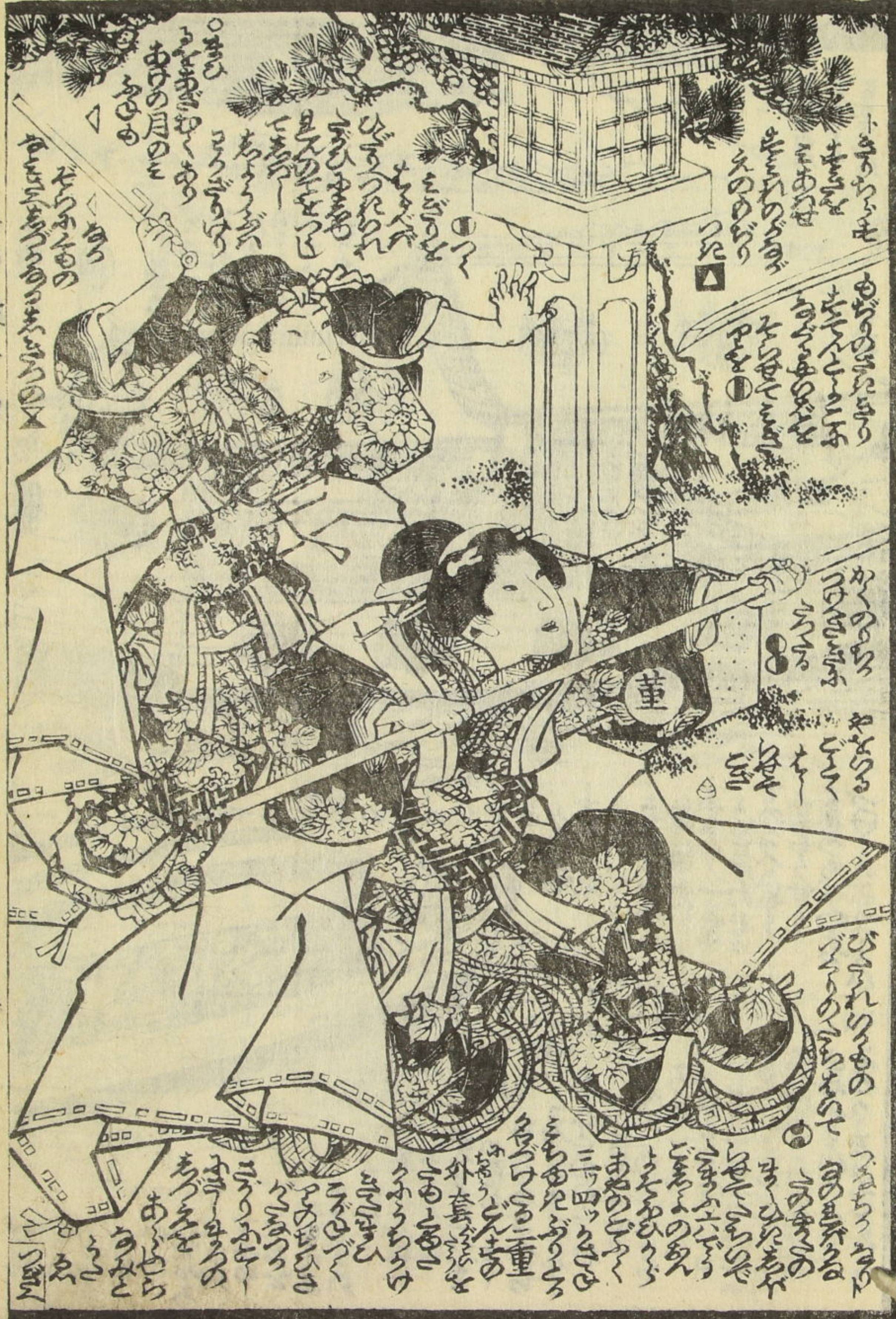
五

二

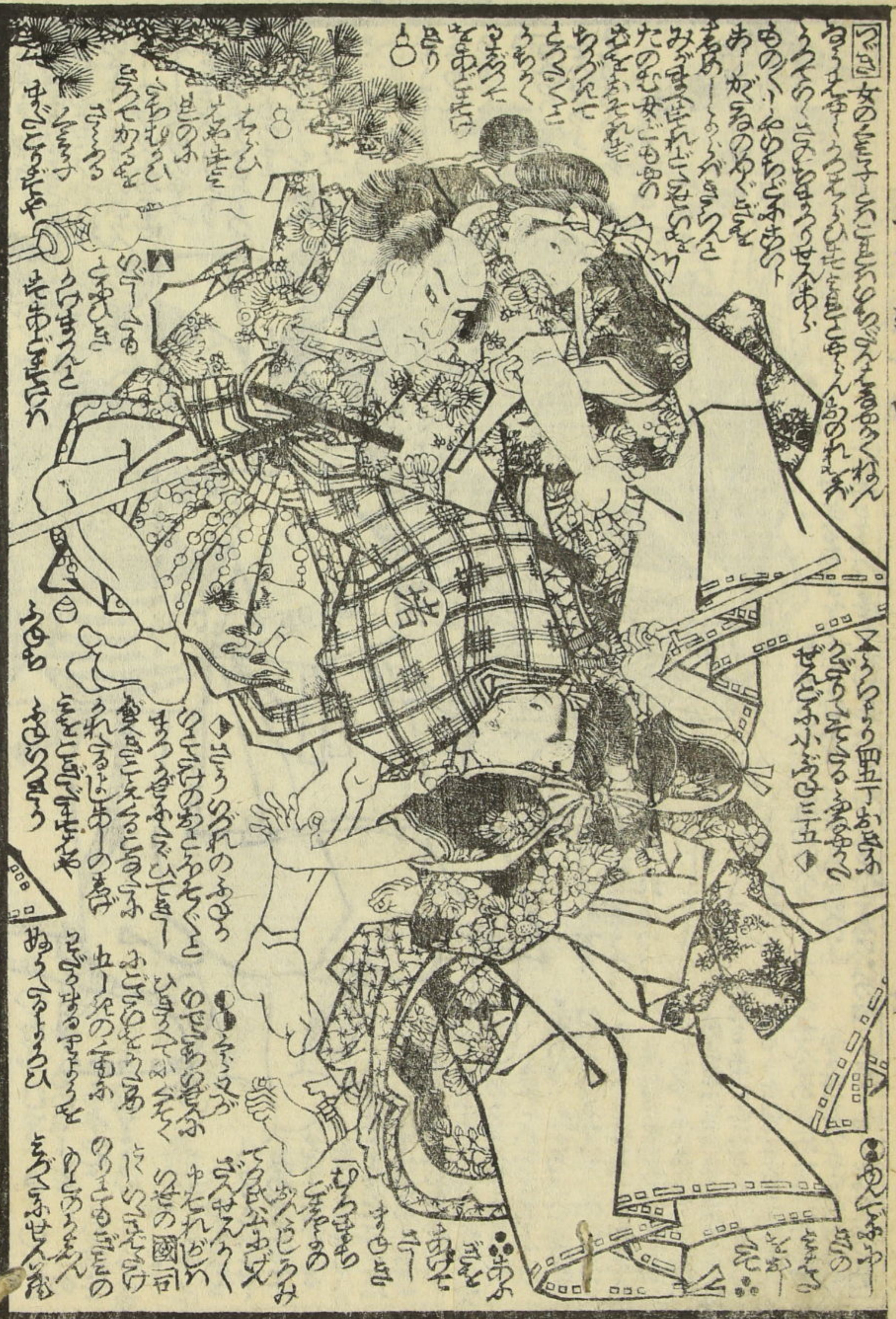


ひまわり
京小天
子さき
あつて
うきまふ
のこふ
かたふ
さきふ
まふ

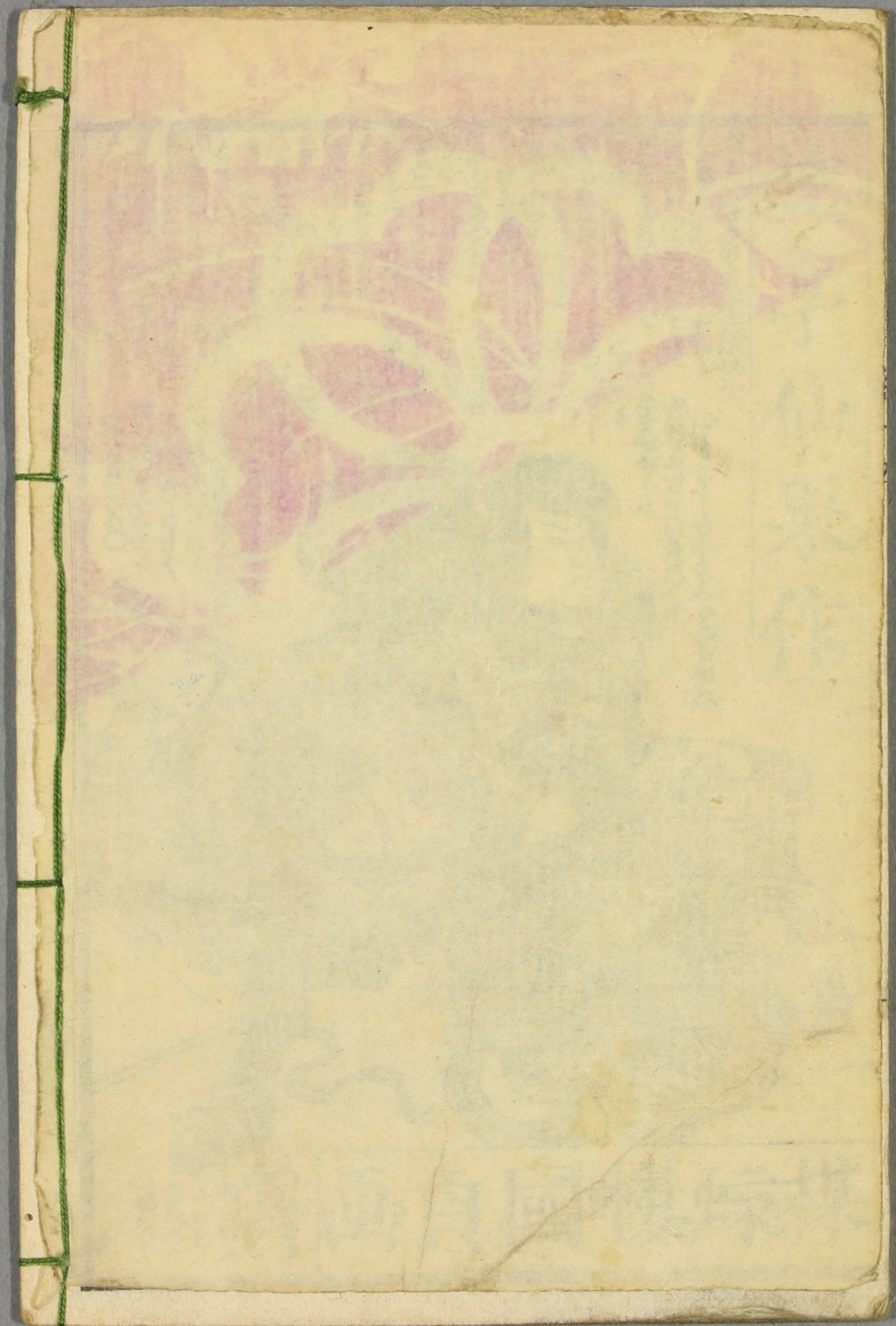
其由家十回



五十一



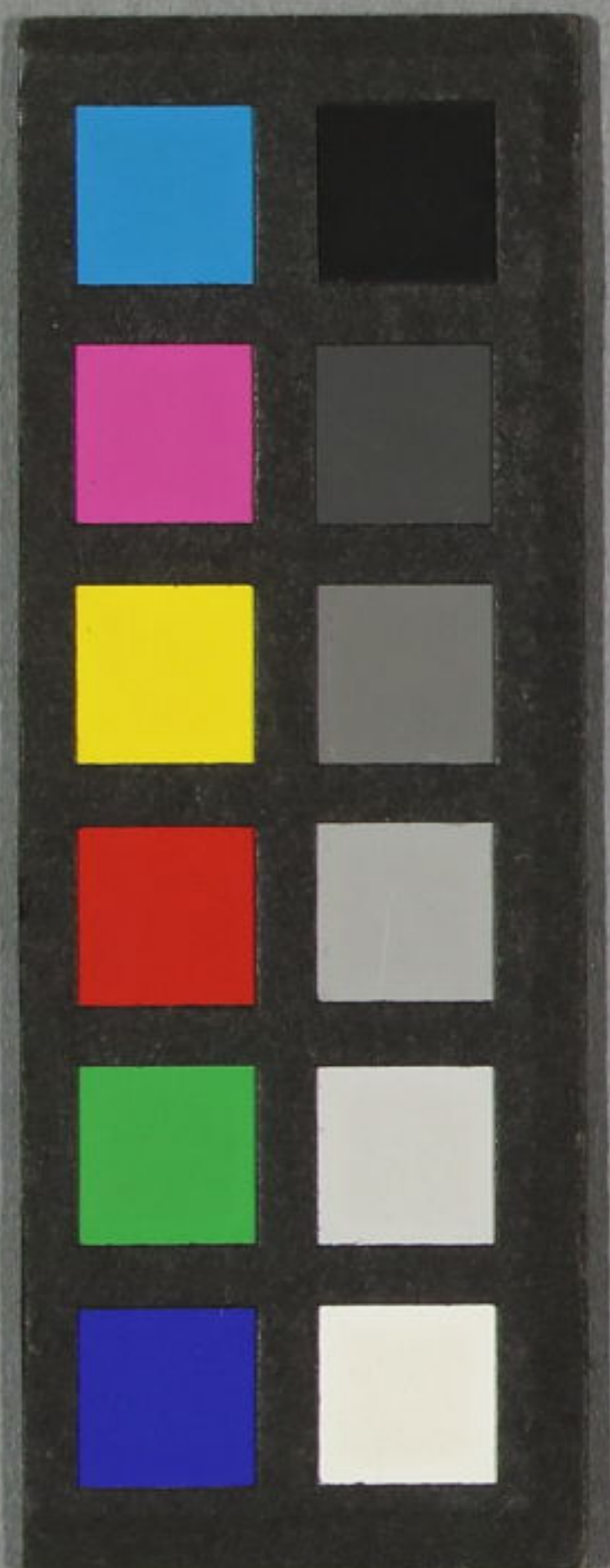
五十二



3
4
5
6
7
8
9
30
1
2
3
4
5
6
7
8
9
40
1
2

部
松
東
解
國
貞
魚

笑
壽
屋
粹





門 13
 3730
 28

遊

十四海

下冊



柳之著

梅蝶畫



此の女中の
 うちの
 大吉小舟
 りもまう
 用きけ
 標

此の女中の
 うちの
 大吉小舟
 りもまう
 用きけ
 標



此の女中の
 うちの
 大吉小舟
 りもまう
 用きけ
 標

此の女中の
 うちの
 大吉小舟
 りもまう
 用きけ
 標





仙果作
國貞画

○此二丁半の
画のこけ
十五人のえ
めふんを



魚樂

